

鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年2月検出分；検体採取 令和6年1月～2月)

令和6年3月15日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体5件（検体採取1月下旬～2月中旬）について検査を実施したところ、インフルエンザA (N1H1) pdm09型が1件、インフルエンザB ビクトリア系統が3件、インフルエンザB 系統不明が1件検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	0	
2024	12月23日	西部	1	0	1	0	0	0	
	1月17日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	0	
	1月22日	中部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
	2月5日	西部	2	1	0	0	0	1	今回報告分
	2月6日	西部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			27	8	14	4	0	1	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（3月6日作成）によると、2023/24 シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1)pdm09型が検出されている。また第1週以降、B ビクトリア系統の検出割合が増加している(図1)

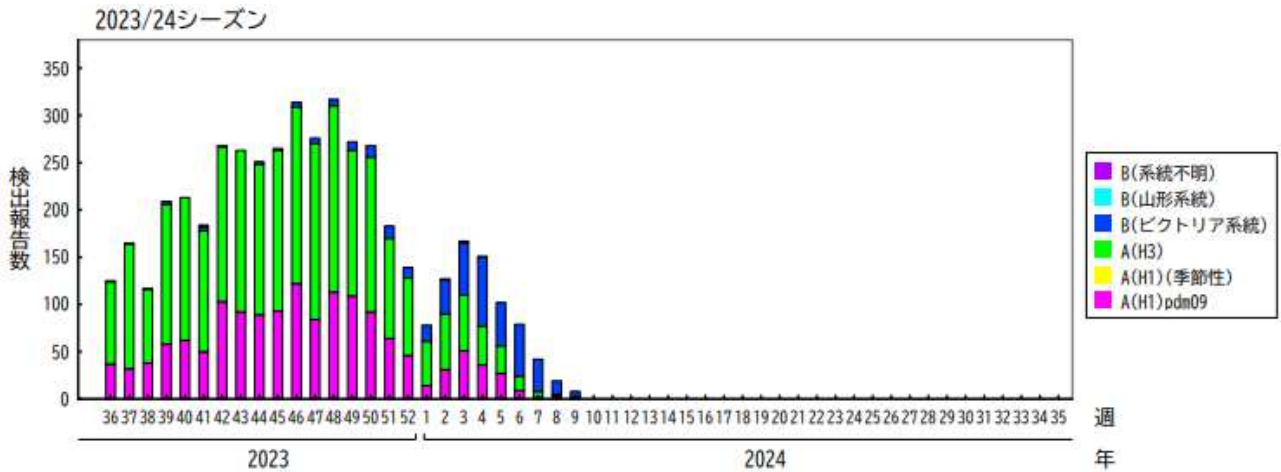


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数 (2023/24 シーズン)

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報 (2024年3月6日作成)

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について検査を行ったところ、ノロウイルスGⅡ型が3件、サポウイルス (型別不明) が1件、アデノウイルス (41型) が1件検出された。(詳細は表2のとおり)

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230098	1月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (41型)	(-)	(-)
230099	1月中旬	検出 (GⅡ)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230100	1月中旬	検出 (GⅡ.4[P16])	検出 (型別不明)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230101	1月中旬	検出 (GⅡ.7[P7])	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
検出計		3件	1件	0件	0件	1件	0件	0件

(-) : 未検出

3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件 (検体採取1月中旬 (検体番号 230102)) について検査を実施したところ、アデノウイルスは検出されなかった。